



## **MatriMix (511)を用いたマウス皮下への移植プロトコル**

ゲルの容量や細胞によって条件が変わるため、適宜、ゲル濃度や細胞数などの条件を調整して下さい。

1. 培養細胞を回収する。

※二次元培養細胞の場合；常法でのトリプシン処理回収

※三次元ゲル培養の場合；MatriMix を用いる場合は別資料の細胞回収プロトコルにて回収

2. 遠心回収細胞した細胞ペレットに wash buf.(基礎培地+10%FBS)を 3 mL 加え、ピペッティングする。

3. 一部分取して、細胞数をカウントする。

4. 必要量の細胞を遠心回収する。

※インジェクション用 MatriMix 200  $\mu$ L あたり、 $1 \times 10^5$  cells を推奨

5. 細胞ペレットにインジェクション用 MatriMix を加え、ピペッティングする。

※インジェクション用 MatriMix は、氷上冷却しながら、MatriMix に対して 1/3 量の培養培地を加えて調製する。培養培地を添加することで、コラーゲンの終濃度は 1.33 mg/mL となる。

6. 細胞+MatriMix 混合液 100  $\mu$ L を FN シリンジ 27G に充填して、マウス皮下に注射する。

7. 腫瘍形成を経時的に観察する。